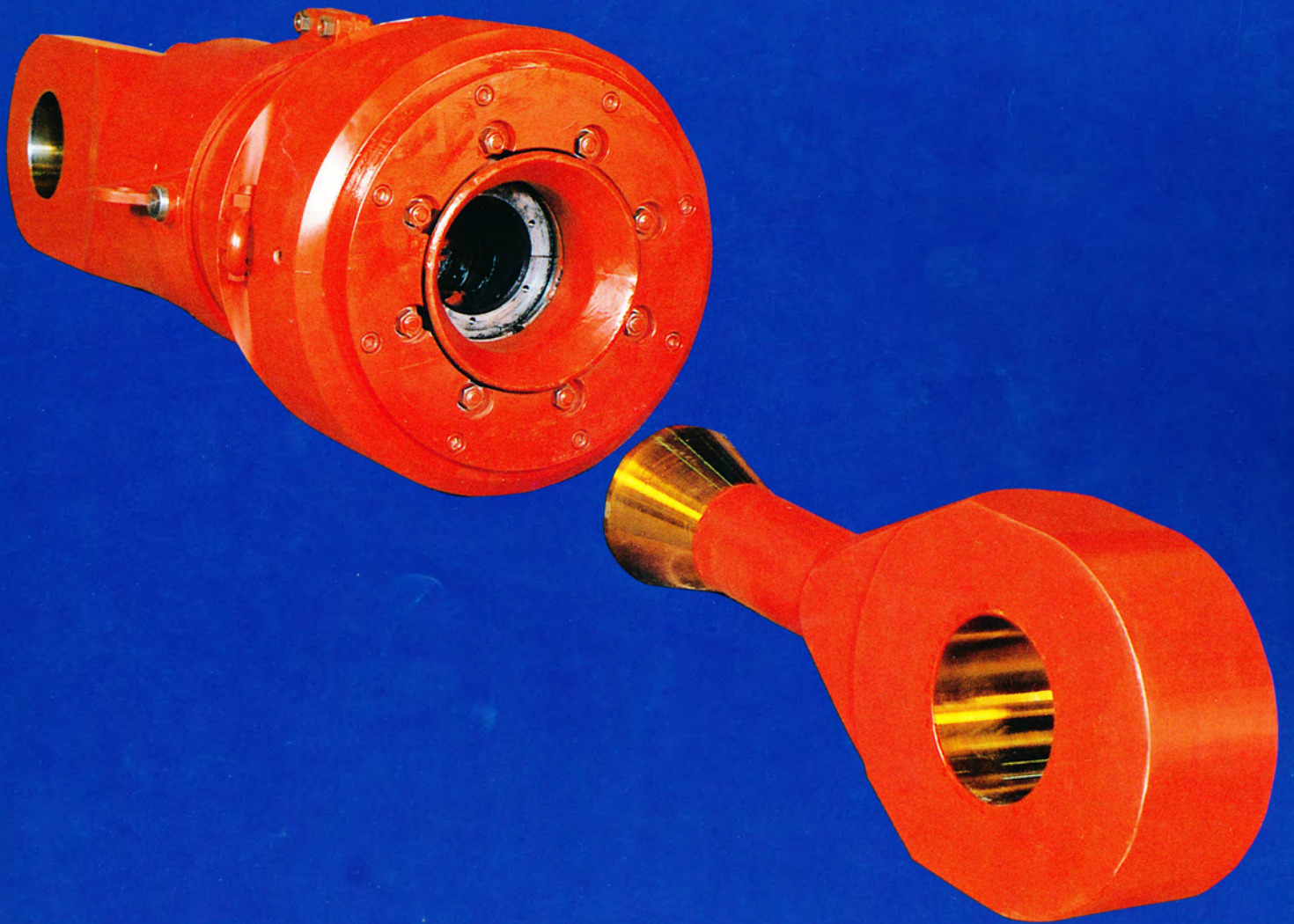
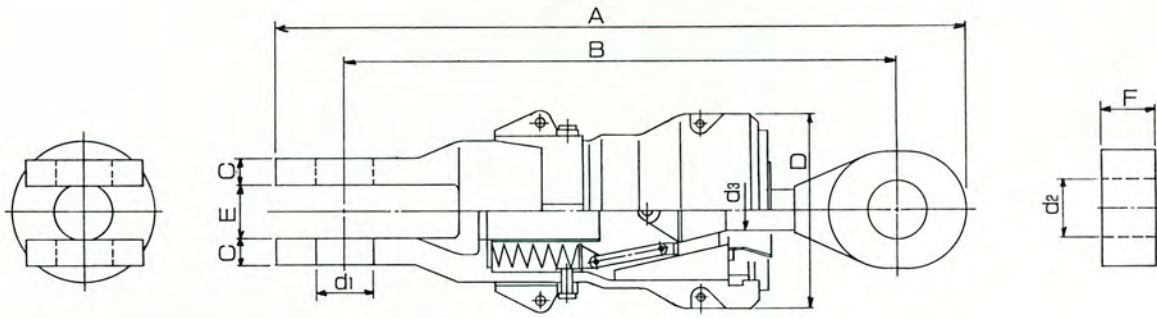


ワンタッチ式

クイックジョイント





吊上用

単位：mm

使用荷重(t)	型式	A	B	C	D	E	F	d ₁	d ₂	d ₃
50	H005J	1800	1500	45	400	100	95	100	100	65
100	H010J	2250	1850	55	480	120	115	140	140	90
200	H020J	2500	2050	70	580	140	135	180	180	125
300	H030J	2750	2200	90	650	180	175	220	220	155
400	H040J	2950	2350	105	750	210	205	250	250	180
500	H050J	3150	2500	120	820	230	225	280	280	200
600	H060J	3450	2700	130	900	260	250	320	320	220
800	H080J	3850	3000	155	1050	285	275	360	360	250
1000	H100J	4350	3400	175	1150	325	315	400	400	280
1200	H120J	4870	3850	200	1225	370	360	430	430	300

係留用

単位：mm

使用荷重(t)	型式	A	B	C	D	E	F	d ₁	d ₂	d ₃
100	M010J	2150	1800	70	450	145	140	120	120	80
200	M020J	2350	1950	80	550	160	155	160	160	110
300	M030J	2500	2050	90	620	180	175	190	190	130
400	M040J	2675	2155	100	730	200	195	215	215	150
500	M050J	2850	2250	110	780	220	210	240	240	165



深田サルベージ建設株式会社

海洋開発室

〒101 東京都千代田区神田錦町1-9-1

TEL 03-294-1951 FAX 03-294-8146



五大技研株式会社

〒737 広島県呉市海岸2丁目17-1

TEL 0823-24-6466 FAX 0823-24-6869



明石海峡大橋 鋼ケーソン係留作業中



明石海峡大橋1000ton鋼製シンカーの吊上げ

クイックジョイントの特長

近年、橋梁、ケーソンなど、海洋構造物の大型化に伴い、その吊上げや運搬、沈設などの作業の安全性と迅速性、あわせて省力化による経済性が問題にされています。

その目的に対応できるクイックジョイントをここに開発しました。

従来の工法では、大型シャックルや大型ワイヤロープソケットの連結ピンとナットの嵌脱は、複雑なクレーン作業と多数の人力で位置や姿勢を合わせるといった熟練を要し、作業環境によっては危険も伴う難作業で、長時間を要するのが通常でした。

本装置の特長は、下の作動説明図でお判りのように、1本のガイドロープと、もう1本のリリース用パイロットロープの遠隔操作により、安全、確実に、迅速な嵌脱が可能です。

例えば、海底への構造物の吊下しや、反対に吊り上げの場合、従来のダイバーによるピンの嵌脱での台付索の取付け、取外しの作業が全く不要になりますので、安全性、経済性に大きく貢献できるものと確信いたしております。

クイックジョイントの用途

- 大型構造物の係留索嵌脱用
- ケーソン・シンカー等の吊上げ、運搬、設置
- 橋梁、大型構造物の吊上げ、運搬、設置
- 沈埋函、取水管、放水管等の吊上げ、運搬、設置
- 魚ショウ等の吊上げ、運搬、設置



広島大学工学部における1000ton耐力試験



明石海峡大橋 鋼ケーソンの係留索連結作業

作動説明 ● 嵌合作業

STEP.1 オス金物先端とワイヤロープとを連結させウィンチにてメス金物内に引込む。

STEP.2 オス金物に押されてスライド金物が左に移動し、それによってバネが圧縮される。

STEP.3 オス金物の最大径部がスライド金物を通過すると、バネを圧縮し、左に移動していたスライド金物はバネの反力によって元の位置にもどる。

STEP.4 嵌合作業の完了
回転防止ワイヤロープを取付ける。

離脱作業 ウィンチにてリリース金物を左に移動させ、これに連動してスライド金物も移動しオス金物の最大径部より大きくなった時、メス金物より抜け出、離脱する。

